

[17_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468091>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 17 (1), 1984-01-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

お 知 ら せ

TSSセッションのキャンセル方法について

TSSセッションの開設中、何らかの原因で利用者の作業が進まなくなることがあります。従来、センターにセッションのキャンセル依頼をするしか方法がありませんでしたが、10月3日より、利用者自身でキャンセルできる手段を用意しました。

使用法は次のとおりです。

```

LOGON TSS F0060          -----①
KDS70001I F0060      LAST ACCESS AT 09:05:54 ON 83.271
KEQ56455I F0060 LOGON IN PROGRESS AT 13:42:19 ON SEPTEMBER 28, 1983
JOB NO = TSU2890 CN(01)
KEQ56951I NO BROADCAST MESSAGES
KEQ56700A ENTER USER NAME -          -----②
F9999                                -----③
PASSWORD ?
████████████████████                -----④
KILL ACCEPT                          -----⑤
RETURN CODE : 0000
KEQ56470I F0060 LOGGED OFF AT 13:43:32 ON SEPTEMBER 28, 1983+
KEQ54100I SESSION ENDED

```

説明：下線部が入力した部分です。

- ①…必ず課題名はF0060でログオンします。パスワードは不要です。
- ②…課題名を入力せよという督促メッセージです。
- ③…キャンセルするセッションの課題名を入力します。
- ④…指定した課題名のパスワードを英大文字で入力します。
- ⑤…キャンセルを受け付けた時のメッセージです。

システムレベルアップについて

11月1日(火)に、システムレベルアップを行いました。
その主な内容についてお知らせします。

(i) 日本語・図形出力時の課金方法の変更について

システムライターが現在のエクスターナルライターからJESライターに変更になりました。

これによって、利用上の違いはありませんが、システム内部の情報で文字パターン数がライン数に含まれるため、NLP出力時の課金の計算法が次のように変更しました。

- ① ライン数－ページ数×62 > 0の時
(ライン数－ページ数×62)をパターン数とみなし、100パターンにつき1円の課金を
行います。なお、ページについては別に1ページにつき5円の課金を行います。
- ② ライン数－ページ数×62 ≤ 0の時
従来どおり、1ページにつき5円の課金を行います。

(ii) TSSのSYSOUT出力の連絡所送りについて

従来、TSSのSYSOUT出力の連絡所送りは、MAILコマンドによって行われていましたが、今回からはLOGON時のDEST(REMOTE)パラメタで行うように変更されました。以下に、使用例を示します。

例) MAIL処理を行う場合

LOGON TSS F9999 / パスワード DEST(REMOTE)

(iii) カタログの効率化について

現在、データセットのカタログ情報はすべてマスタカタログに登録されており、そのエントリ数は4万件を超えています。このため、システムのカタログ検索効率が低下しています。そこで、現在登録されているカタログ情報をシステム用、ユーザ用に分割し、データセットアロケート時のシステム効率を改善しました。

昭和58年度プログラムライブラリ開発課題(追加)について

センターニュース№271以後、採用されたプログラムライブラリ開発課題は、下表のとおりです。

昭和58年度プログラムライブラリ開発課題一覧(追加)

開発番号	課 題 名	開発者(所属)	開発期間	開発時間	新規/継続
12.6	画面管理用ライブラリとこれを用いた画面指向型TSSコマンド処理支援システムの開発	宇津宮 孝一 吉岡 和幸 畠山 貴次 (九大・総理工)	1983.7.1 } 1984.3.31	180分	新規
12.7	熱物性値機械計算汎用プログラムパッケージおよびヘリウム4熱物性値機械計算プログラムパッケージの開発	伊藤 猛宏 黒木 虎人 (九大・工)	1983.10.15 } 1984.3.31	60	新規
12.8	日本語SNOBOL4の高速化と整備	牛島 和夫 吉田 和幸 日並 順二 (九大・工)	1983.10.15 } 1984.3.31	120	新規
12.9	日本語文章作成支援ツールの公開	牛島 和夫 日並 順二 吉田 和幸 荒木 啓二郎 高木 利久 (九大・工)	1983.10.15 } 1984.3.31	60分	新規

開発番号	課 題 名	開発者(所属)	開発期間	開発時間	新規/継続
12. 10	ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラム開発	国宗 真 (福女大) 南 俊朗 (九大・理)	1983.10.15 } 1984. 3. 31	120	年度内 継続*

* 計算時間を消費してしまったので、「ライブラリ開発進行状況報告書」を添付の上、再度継続申請が提出されたのが承認されたものである。

INSPEC文献検索の利用者へ

1) 1月からINSPECの検索方法を大幅に変更しました。その理由は、情報検索システムを富士通製のFAIRS-Iから本センターで開発したAIRに変えたためです。AIRは、FAIRS-Iに比べて効率が高いため、この変更によって次の点が改善されました。

- 応答時間が数倍速くなります。また、CPU時間、EXCP回数が大幅に減少するため、負担金が数分の1以下になります。
- これまで3～5年分のデータしかディスク上に置けませんでした。データ圧縮技法の採用により約1/4のディスク・スペースしか必要としないため、過去10年分のデータをディスクに置けるようになります。
- データの追加のために、現在、1カ月に2日間検索サービスを休んでいますが、これが数週間程度に短縮されます。

INSPEC-A(物理学関係)、同-B(電気・電子工学関係)については、来年1月17日から変更します。INSPEC-C(制御工学・計算機科学関係)については、11月末からAIRによる検索サービスを試行しました。FAIRS-IによるINSPEC-Cのサービスも並行して行いますが、これはINSPEC-A、Bの検索をAIRに移行した時点で廃止します。

2) 本センターでは、INSPECのデータを分野ごとに分け、INSPEC-A、B、Cとしてサービスしています。この3個のデータベースは排他的でなく、約20%の文献が2または3個のデータベースに重複して含まれています。さて、INSPECには今年から、A、B、Cのほかに、D(情報工学関係)という分類が設けられましたが、当面これはCの中に入れて検索サービスを続けるつもりです。

3) INSPECテープは、来年から基本料のほかに使用料(royalty)が要求されます。オンラインおよび検索に関しては、データベースの接続時間に対して課金され、1年間インハウスで50時間までは無料ですが、センター外からの利用やその時間を超えた分については1時間当たり25支払わなければなりません。既に、東京大学大型計算機センターでは、CASについては使用料を支払っていて、その1/2を利用者が負担することになっています。INSPEC使用料の利用者負担については、これからデータベース委員会を中心に議論することになりま

すが、利用者がある程度負担するという事態になっても、短い接続時間で検索できるような検索機能をAIRに付加し、利用者の負担をできるだけ軽くしたいと考えています。

Fortran の統一について

これまでFortran IV (GE/HE), Fortran 77 (以下, GE/HE, 77 と略称) の3種のFortran コンパイラを運用してきましたが、11月21日(月)より、Fortran 77 をV10/L10 にバージョンアップするのに伴い、Fortran 77 を標準とするため、利用法などを以下のように変更しました。

1) TSS 処理

- FORT, FORTHE, FORT77 コマンドのいずれを入力しても、新しい77 コンパイラが呼出される。
- RUN コマンド/RUN サブコマンドで、データセットタイプがFORT, FORTHE, FORT77 のいずれであっても、新しい77 コンパイラが呼出される。
- 従来通り、GE/HE コンパイラを呼出したい時には、前もってFORTRAN 4 コマンドを入力しておく必要がある(ただし、FORTRAN 4 コマンドは、4月一杯までしか有効でない)。

2) バッチ処理

従来通りで変更はない。ただし、カタログドプロシジャFORTGE, FORTHEは、4月一杯までしか有効でない)。

以上のように、GE/HE コンパイラは、4月一杯までは動作しますが、その後は廃止して、Fortran 77 に完全に統一する予定です。以下に77 とGE/HE の間の相違点などを述べます。

i) 77 とGE/HE で言語規格が異なる主な点

以下のGE/HE の仕様で書かれているものは、なるべく書き換えることをおすすめしますが、コンパイラオプションでLANGLVL(66)を指定すれば、77 でもそのまま動作します。

- 基本外部関数名を指定したEXTERNAL文。77には基本外部関数というものではなく、システムで提供する関数はすべて組込み関数である。
- DO ループの繰返し回数。GE/HE ではDO の範囲は必ず1回は実行されたが、77では1回も実行されない場合がある。
- 単純並びを括弧でくくった入出力並び。(例)WRITE(6,*)(A, B, C)
77では、この指定はできない。
- 77で追加された組込み関数。ICHAR, CHAR, ANINT, DNINT, QNINT, NINT, IDNINT, IQNINT, DPROD, QPROD, LEN, INDEX, DASIN, QASIN, DACOS, QACOS, LGE, LGT, LLE, LLT.
- 77では削除された組込み関数。ARSIN, DARSIN, QARSIN, ARCOS, DARCOS, QARCOS.

ii) 77 互換仕様の主なもの

77 の規格外の仕様ですが、GE / HE に対する互換仕様として、77 でもそのまま動作します。ただし、翻訳時または実行時に警告 (Wレベル) の診断メッセージが出力されます。

- 文字列などの取り扱い。77 には、GE / HE にはなかった文字型 (CHARACTER 型) が追加された。そのため、文字を扱う場合は文字型として定義すれば、警告メッセージはなくなる。
- DEFINEFILE 文と直接入出力文。DEFINEFILE 文は、77 の OPEN 文に対応する。直接入出力文は、記録指定子を指定する新しい直接入出力文に対応する。
- ENCODE / DECODE 文。77 の内部ファイル入出力文に対応する。
- T および F の形式の論理定数。それぞれ、.TRUE., .FALSE. にする。
- GENERIC 文。GENERIC 文はなくても総称名の扱いとなる。
- 論理演算子。EOR.., XOR. は、77 の .NEQV. に対応する。
- n Z 形 16 進定数。n がつかない形の正しい 16 進定数にする。
- 多重代入文。単一の代入文にする。
- 初期値設定副プログラム以外での共通ブロックへの初期値設定。初期値設定副プログラムで行うようにする。

iii) 77 非互換仕様の主なもの

77 では動作しないため、ソースプログラムを修正する必要があります。

- 2 バイトの論理型
- I = & n の形式の文番号代入文。
- 2 分岐論理 IF 文
- UNLOAD 文

なお、このバージョンアップに伴い、以下のような機能追加があります。

- ビット操作関数 (NOT, IAND, IOR, IEOR, ISHFT, IBSET, IBCLR, BTEST) の追加
- OPEN 文の仕様拡張
- GEM ライブラリからの直接入力機能

Fortran 77 の使用に際しては、以下のマニュアルを参照してください。

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV FORTRAN77 文法書 (64SP-3330-2) , 富士通㈱。
2. 計算機マニュアル FACOM OS IV FORTRAN77 メッセージ説明書 (70SP-5310-1) , 富士通㈱。
3. 計算機マニュアル FACOM OS IV / F4 MSP FORTRAN77 使用手引書 (78SP-5300-1) , 富士通㈱。
4. 計算機マニュアル FACOM OS IV / F4 MSP FORTRAN77 拡張言語手引書 (78SP-5320-1) , 富士通㈱。

処理プログラムのバージョンアップについて

以下の処理プログラムを、11月21日(月)よりV10/L10にバージョンアップしました。これに伴い、以下のように使用法の変更、機能追加などがあります。

1) TSS コマンド

i) LISTDS コマンド

SPACEオペランドが追加され、データセットのスペース情報を出力できる。

ii) LIST コマンド

- ・区分データセットでメンバ無指定の時、全メンバを出力する。
- ・SYSPRINT オペランド指定時、次のオペランドを指定できる。

NOTITLE ……………見出しの抑制

SPLINE (行数) ……1 ページの印刷行数指定

SPCOL (桁数) ……1 行の印刷桁数指定

SPCHAR ……………印刷制御文字有効出力

iii) COPY コマンド

- ・同一区分データセット内でメンバの複写ができる。
- ・ブロック長の異なるロードモジュールの複写ができる。
- ・スパンドレコード (VBS) のデータセットの複写ができる。
- ・メンバの別名の複写ができる。

iv) CONDENSE コマンド

空データセットの圧縮ができる。

使用に際しては、マニュアル [1 , 2] を参照してください。

2) PFD

i) PFD-EDIT と右筆の統合により、右筆オプションが廃止された。右筆を使用するには、EDIT オプションメニューで、日本語データ====>YES と指定する。

ii) PFD-EDIT と PFD-GEM の統合により、GEM オプションが廃止された。GEM を使用するには、ATTRIBUTES オプションで、GEM OPTION====>YES と指定する。

iii) PFD-EDIT に、RUN, LIST コマンドが追加された。

iv) TTY 端末サポート機能 (PFD TTY フルスクリーン) が追加された。ただし、現在対象となる端末は、F9410 系/F9430 系、FM-8 である。

使用に際しては、マニュアル [3 , 4 , 5] を参照してください。

3) DOCK/FORTRAN77

i) 旧バージョンの実行環境保存データセットは使用できない。新しく作成し直す必要がある。

ii) プロフィール表示、GEM 直接入力などの機能が追加された。また、サブコマンド (BACKT R, REFER など) の追加もある。

使用に際しては、マニュアル [6] を参照してください。

4) GEM

コンパイラの直接入力，日本語による情報出力などの機能が追加された。使用に際しては，マニュアル[7 , 8]を参照してください。

5) JIS-COBOL

i) 従来の '72 JIS に対し '80 JIS の採用により，コンパイラオプションの追加，省略値の変更 (NOADV→ADV , APOST→QUOTE , LANGLVL = 1→LANGLVL = 2 , LCOL 1→LCOL 2) ，機能追加がある。

ii) ライブラリ SYS 1. COBLIBD が廃止された。

使用に際しては，マニュアル[9 , 10 , 11 , 12]を参照してください。

6) FORTUNE

i) FORTUNE コマンドにより，TSS 下で FORTUNE を使用できる。

ii) 従来のカタログプロシジャ FORTUNE が以下のように変更される。

プロシジャ名	記号パラメータ	プロシジャステップ名
FORTUNE	[, SYSOUT = { A K S O }]	FTUN
	[, STEP = { CGO CLG }]	LKED
	[, PRVLIB = ▼データセット名▼]	GO

記号パラメータ：STEP 処理過程を選択する。

CGO 翻訳，結合編集，実行を1プロシジャステップで行う。

CLG 翻訳，リンケージエディタによる結合編集，実行を行う。

使用例

```
// EXEC FORTUNE
//FTUN. SYSIN DD DSN=ソースデータセット名, DISP=SHR
//FTUN. SYSGO DD DSN=データデータセット名, DISP=SHR
//
```

使用に際しては，マニュアル[13]を参照してください。

7) その他

PL/I [14 , 15] , PASCAL [16 , 17] , IPF [18] , GSL (Graphic Subroutine Library , 従来の PSP , GSP , T-GSP の総称) [19 , 20 , 21 , 22] , ADJUST [23] , GSF (Graphic Support Facilities , 従来の GDP , KST などの総称) [24] , SORT / MERGE [25] , TESTFORT77 [26] , TESTPLI [27] , TESTCOB [28] がバージョンアップされます。使用に際しては，各マニュアルを参照してください。

マニュアル

1. FACOM OS IV/F4 MSP TSS コマンド文法書 (78SP-1340-1) , 富士通株。
2. FACOM OS IV/F4 MSP TSS メッセージ説明書 (78SP-1380-1) , 富士通株。

3. FACOM OS IV/F4 MSP PFD使用手引書 プログラム開発機能編(78SP-3100-1), 富士通株.
4. FACOM OS IV/F4 MSP PFD使用手引書 日本語処理機能編(78SP-3110-1), 富士通株.
5. FACOM OS IV/F4 MSP PFD使用手引書 対話管理機能編(78SP-3120-1), 富士通株.
6. FACOM OS IV/F4 MSP DOCK/FORTRAN77 使用手引書(78SP-5340-1), 富士通株.
7. FACOM OS IV/F4 MSP GEM1/GEM2使用手引書(78SP-3200-1), 富士通株.
8. FACOM OS IV/F4 MSP GEM3使用手引書(78SP-3210-1), 富士通株.
9. FACOM OS IV JIS COBOL文法書(70SP-5200-1), 富士通株.
10. FACOM OS IV JIS COBOLメッセージ説明書(70SP-5220-1), 富士通株.
11. FACOM OS IV/F4 MSP JIS COBOL使用手引書(78SP-5210-1), 富士通株.
12. FACOM OS IV/F4 MSP JIS COBOL拡張言語手引書(78SP-5230-1), 富士通株.
13. FACOM OS IV/F4 MSP FORTUNE使用手引書(78SP-5360-1), 富士通株.
14. FACOM OS IV PL/I文法書(70SP-5400-1), 富士通株.
15. FACOM OS IV/F4 MSP PL/I使用手引書(78SP-5410-1), 富士通株.
16. FACOM OS IV PASCAL文法書(64SP-3340-2), 富士通株.
17. FACOM OS IV/F4 MSP PASCAL使用手引書(78SP-5550-1), 富士通株.
18. FACOM OS IV IPF使用手引書(70SP-3300-1), 富士通株.
19. FACOM OS IV PSP文法書(70SP-6240-1), 富士通株.
20. FACOM OS IV GSP文法書(高級型用)(70SP-6220-1), 富士通株.
21. FACOM OS IV GSP文法書(普及型用)(70SP-6230-1), 富士通株.
22. FACOM OS IV/F4 MSP GSL使用手引書(78SP-6210-1), 富士通株.
23. FACOM OS IV/F4 MSP ADJUST使用手引書(78SP-6000-1), 富士通株.
24. FACOM OS IV GSF手引書(70SP-6200-1), 富士通株.
25. FACOM OS IV/F4 MSP ソートマージ使用手引書(78SP-5500-1), 富士通株.
26. FACOM OS IV/F4 MSP TESTFORT77使用手引書(78SP-5330-1), 富士通株.
27. FACOM OS IV TESTPLI使用手引書(70SP-5420-1), 富士通株.
28. FACOM OS IV/F4 MSP TESTCOB使用手引書(78SP-5240-1), 富士通株.

TSSコマンドのレベルアップについて

1月4日(金)から、SORP、TRANSFERコマンドがレベルアップされました。以下にその主な内容について示します。

(1) SORPコマンド[1]

FINDサブコマンドが追加されました。入力形式は次のとおりです。

サブコマンド名	オペランド
$\left\{ \begin{array}{l} \text{FIND} \\ \text{F} \end{array} \right\}$	$\left[\begin{array}{l} \text{文字列} \left[\begin{array}{l} \text{ページ数1} [: \text{ページ数2}] \\ \text{ページ数1.} [: \text{ページ数2.}] \end{array} \right] \left[\begin{array}{l} \text{CHARS} \\ \text{PREFIX} \\ \text{SUFFIX} \\ \text{WORD} \end{array} \right] \end{array} \right]$ <p style="text-align: center;">*</p>

オペランドの説明

文字列 : 探す文字列を引用符(▼)又は二重引用符(▼▼)で囲む。

ページ数1 : ページ数2 検索範囲を表示ページからの相対位置で指定する。ページ数2を省略した場合、ページ数1で指定されたページのみを探す。共に省略した場合には表示ページから最終ページまで検索する。

ページ数1. : ページ数2. 検索範囲をSYSOUTデータセットの先頭からのページ数で指定する。

CHARS : 単語内の位置を問わない。

PREFIX : 単語内の先頭であることを指定する。

SUFFIX : 単語内の末尾であることを指定する。

WORD : 単語全体であることを指定する。

* : 直前の検索を同一ページから始める。

省略 : 直前の検索を次ページから始める。

(2) TRASFERコマンド[2]

TTY補助出力装置としてタイプV(フロッピーディスク)が追加されました。制御パターン等の詳細は[2]を参照して下さい。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP SORPコマンド使用手引書 V10用 (78SP-3320-1), 富士通株.
2. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP TSSコマンドセットTTY使用手引書 V10用 (78SP-3340-2), 富士通株.

私用カタログドプロシジャについて

1月4日(金)より私用カタログドプロシジャが使用できるようになりました。プロシジャ用

データセットは共用ボリューム上（MSS上では利用できない）に次のような形式で作成しておく必要があります。

```
形式 : DSORG = PO
      RECFM = FB
      LRECL = 80
      BLKSIZE = 80の倍数
```

内容 : PEND文を含ませない

次に、使用するバッチジョブでは、

```
//ジョブ名 JOB パスワード
//JOBPROC DD DSN=プロシジャデータセット名, DISP=SHR
// EXEC プロシジャ名
//
```

JOB文の直後にJOBPROC（DD名固定）のDD文を指定します。

なお、呼び出されるプロシジャは、入力ストリームプロシジャ、私用カタログプロシジャ、システムプロシジャライブラリの順で検索されます。

データセットの自動バックアップについて

11月4日（金）より、共用ボリューム上の保存データセットについてMSSへの自動バックアップを開始しました。データセット更新時、および新規作成時には自動的にバックアップされます。バックアップ処理は、土曜日を除く毎日行いますが、その時使用していたデータセットは翌日までバックアップされませんので、更新後のバックアップを確実にするには、HBACKDSコマンドを入力して下さい。バックアップされたデータセットは、ディスク障害時または誤って消去した場合に下記の手順で復元できます。

使用例

(i) 順データセット、直接データセットの場合

```
ALLOC DA (データセット名) NEW CA
HRECOVER データセット名 REPLACE
```

(ii) 区分データセットの場合

```
ALLOC DA (旧データセット名) NEW CA
HRECOV 旧データセット名 NEW (新データセット名)
ADDSD 新データセット名 NOSET
DELETE 旧データセット名
RENAME 新データセット名 旧データセット名
```

なお、バックアップ版は、実データセットを消去した後、一定期間で削除されますのでご注意ください。

フロッピーディスクの利用について

従来、フロッピーディスクは片面・単密度しか使用できませんでしたが、11月21日(月)より、両面・倍密度も使用できるようになりました[1]。これにより、センターで使用可能なフロッピーディスクは、下記のとおりです。

セクタ長	記録面	記録密度
80	片面	単
128	片面・両面	単
256	両面	倍

なお、80及び128バイトの片面・単密度ものについては、従来のカタログドプロシージャ(FLOPPY)も使用できます。

1. 機能

- ・フロッピーディスクの初期化を行う。
- ・フロッピーディスクと他の媒体(MT, ディスク)間のデータ転送を行う。
- ・フロッピーディスクのボリューム情報(ボリューム通し番号, データセット情報など)を印刷する。

ただし、使用に際して次のような制限がありますので注意して下さい。

制 限 事 項
ボリュームアクセス条件標識を指定して作成したデータセットに対する印刷機能
VOL制御文の省略
書き込み禁止保護のなされているデータセットが含まれているフロッピーディスクへの書き込み
満了日付の過ぎていないデータセットが含まれているフロッピーディスクへの書き込み
データセットの複写においてフロッピーディスクの領域不足時の問合せ
マルチボリュームのセットミスにおける問合せ
フロッピーディスクからフロッピーディスクへのバックアップ処理

2. 形式

プロシージャ名	記号パラメータ	プロシージャステップ名
DFLOPPY	[, SYSOUT = $\begin{Bmatrix} A \\ K \\ S \\ O \end{Bmatrix}$]	DFLOPPY

3. 関連するDD名

- ・SYSUT1 入力データセット用
- ・SYSUT2 出力データセット用

4. 使用例

下線を施した部分は利用者が適当に置き換えることを示す。

- ① フロッピーディスクのイニシャライズを行う。

```
// EXEC DFLOPPY
//SYSUT2 DD UNIT=FPU
//SYSIN DD *
      INITF VOL=ボリューム通し番号
//
```

- ② フロッピーディスクの内容を印刷する。

```
// EXEC DFLOPPY
//SYSUT1 DD UNIT=FPU
//SYSIN DD *
      VOL=ボリューム通し番号
      PRINT [ LABEL
             ALL
             DSID=データセット識別名 ]
//
```

LABEL

ボリュームラベルの内容とすべてのデータセットラベルの内容を印刷する。

ALL

ボリュームラベルの内容及びすべてのデータセットラベルの内容とすべてのデータセットの内容を印刷する。

DSID=データセット識別名

特定のデータセットのデータセットラベルの内容とデータセットの内容を印刷する。

- ③ 直接アクセス装置からフロッピーディスクへ複写する。

```
// EXEC DFLOPPY
//IN DD DSN=入力データセット名, DISP=SHR
//SYSUT2 DD UNIT=FPU
//SYSIN DD *
      VOL=ボリューム通し番号
      INPUT IN
      CNVDF 出力データセット名, LRECL=レコード長
//
```

入力データセットを定義するDD文のDD名(例: IN)は任意で、ここで指定したDD名はINPUT制御文のオペランドにも指定する。

- ④ フロッピーディスクから直接アクセス装置へ複写する。

報 告

```

// EXEC DFLOPPY
//OUT DD DSN=出力データセット名, UNIT = PUB ,
// DISP = (NEW, CATLG) ,
// SPACE = (TRK, (初期値, 増分値)) ,
// DCB = (LRECL = レコード長, BLKSIZE = ブロック長)
//SYSUT1 DD UNIT = FPU
//SYSIN DD *
VOL = ボリューム通し番号

OUTPUT OUT
CNVFD 出力データセット名
//
```

出力データセットを定義するDD文のDD名(例:OUT)は任意で、ここで指定したDD名はOUTPUT制御文のオペランドにも指定する。

注) DFLOPPYを使用して作成したフロッピーディスクはキーツーフロッピー装置(オフライン)では使用できません。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 MSP フロッピーディスクサポート説明書 (78SP-1710-1), 富士通株.

筑波大学学術情報処理センター

UTOPIAによる学術情報データベース検索利用案内

筑波大学学術情報処理センター（以下、当センターと略す。）では、大学間コンピュータネットワークに加入し、ネットワークを通じて、当センターの所有するデータベースを公開することになりました。現在、加入の手続きが完了し、九州大学大型計算機センターの端末からの利用が可能となっています。利用方法の詳細は、利用の手引や筑波大学学術情報処理センターニュース等でお知らせしますが、ここでは、運用の概要を以下に紹介致します。

1. 加入システムとホスト名

- ・大型計算機システム（FACOM M200 VM1）
- ・ホスト名＝TSUKUBA

2. 利用方式

UTOPIAによる学術情報の検索

3. ネットワークを利用したUTOPIA利用に係る利用負担金

ネットワークを利用してUTOPIAを使用した場合、次の利用負担金を負担していただきます。

利用負担金＝ネットワーク利用に係るもの＋UTOPIA利用に係るもの＋データベース利用に係るもの

(1) ネットワーク利用に係る利用負担金

大学間コンピュータネットワークは、電々公社のDDX交換網を利用しており、電々公社に対してはバケットに対応する通信料金を支払う必要があります。

当センターでは、電々公社が当センターに対して請求する通信料金に対応する部分に利用負担金を課します。（大型計算機センターを経由する場合には、当センターが当該利用者に課することになります。）

(2) UTOPIA利用に係る利用負担金

大型計算機センター等の端末から、UTOPIAを利用した場合にはこれに対して利用負担金が当センターから利用者に請求されます。なお、この場合利用者は、接続する大型計算機センター等に対しても、当センターを利用するために起動したジョブ（TSS）に対応する利用負担金を支払うことが一般に必要です。

(3) データベース利用に係る負担金

UTOPIAに含まれるデータベースのうち、下記のものについては、その利用に料金が掛ります。

データベースの利用負担金の額

名 称	収 録 内 容	接続時間単価 (円/分)	ヒットチャージ 単価(円/件)
UK MARC	図書目録(英国)	—	29
BA	生物科学に関する文献情報	169	—
BI	生物科学に関する文献情報	169	—
EM	医学に関する文献情報	197	17
COMPENDEX	工学に関する文献情報	—	11
INSPEC	工学に関する文献情報	197	34
CAB	農学に関する文献情報	169	24

4. 課題承認申請等について

(1) 課題承認申請

ネットワークを通じて、当センターを利用する場合には、予め次の手続きを行い、承認を得ておくことが必要です。

- ① 当センターシステムを利用するために、当センターに対して、「課題承認申請」を行い、承認を得ておく。
- ② 使用する端末を接続する大型計算機センター等に対して、「課題承認申請」、「利用申請」等を行い、承認を得ておく。

(2) 使用端末装置に対する申請

大学間コンピュータネットワークを通じ、当センターシステムに接続する端末装置に対して、当センターの「端末設置承認申請」をする必要はありません。(公衆通信回線等から直接当センターシステムに接続する場合は、この申請が必要です。)

(3) 課題承認申請書(当センターに対する)への記入について

UTOPIAを利用する場合は、当センターの「課題承認申請書」に、所定の事項を記入し、申請を行ってください。(なお、課題名と課題の説明の欄は、下記①、②のように書いてください。)

- ① 課題名：「UTOPIAによるデータベース検索」
- ② 課題の説明：利用するデータベース名を記入
- ③ ディスク容量：「0」でも検索可能です。
- ④ その他：通常の課題承認申請と同様に記入してください。

5. その他

(1) UTOPIAの運用時間

UTOPIAの運用時間は、通常、毎日9:00から22:00(土曜日のみ16:00)です。(休日は除く。)

(2) UTOPIAの利用については、当センター事務室にお問い合わせください。

(3) 当センターの利用については、「筑波大学学術情報処理センター共同利用電子計算機利用規程」を遵守してください。

(4) 課題承認申請書用紙等の請求先 305 茨城県新治郡桜村天王台1-1-1
筑波大学学術情報センター事務室(0298-53-2474, 2452)

RS> SEARCH D 'INFORMATION CENTERS' AND 'DATA BASES'
 +FRS1001 8 DOCUMENT(S) FOUND
 RS> OUT RECORD(1)

```
#1
EDEJNO      EJ053033
A           KENNARD, DLGA;AND OTHERS
T           CAMBRIDGE CRYSTALLOGRAPHIC DATA CENTRE. 1. BIBLIOGRAPHIC FILE
J           JOURNAL OF CHEMICAL DOCUMENTATION
B           12; 1; 14-19
YR          1972
PD          FEB 72
CH          LI501998
D           CITATIONS (REFERENCES)+;DATA BASES;INFORMATION CENTERS;INFORMAT-
            ION DISSEMINATION;INFORMATION RETRIEVAL
I           CAMBRIDGE CRYSTALLOGRAPHIC DATA CENTRE
AN          THIS PAPER LIS PART 1 OF A SERIES DESCRIBING THE WORK OF THE
            CENTRE AND DEALS WITH THE ORGANIZATION OF A COMPUTERIZED
            BIBLIOGRAPHIC FILE. EXAMPLES ARE GIVEN OF THE USE OF THE FILE
            FOR BIBLIOGRAPHIC SERVICES, COMPUTER-TYPESET PUBLICATIONS, AND
            STATISTICAL ANALYSIS OF TRENDS IN PUBLICATIONS. (6 REFERENCES)
            (AUTHOR/NH)
IS          CIJJUN72
```

RS> BYE
 +ACT0011 ACCOUNT INFORMATION. < DB : CIJE , CHARGE : 0 YEN >
 +FCA1001 UTOPIA ENDED
 READY
 LOGOFF

```
*****<< ACCOUNT INFORMATION >>*****
*          KADAI-ID          H100036          *
*          SESSION-TIME      0-H 3-M 1-S 24    *
*          CPU-TIME          0-H 0-M 4-S 23    *
*          TPUT / TGET-COUNT  75 /           8  *
*          DATA SET (LIMIT)  1300-M 000-K     *
*          (USED)             3-M 558-K       *
*          CHARGE (LIMIT)     10,000,000 YEN   *
*          (USED)             13,000 YEN      *
*          (REMAINING)        9,987,000 YEN   *
*          (THIS CHARGE IS ESTIMATED ROUGHLY.) *
*****
```

KEQ564701 B05A LOGGED OFF AT 15:08:30 ON APRIL 11, 1983+
 KEQ541001 SESSION ENDED
 @CLOSE
 NVT009 DISCONNECTED FROM HOST - TSUKUBA
 N> @END
 + KYUSHU UNIV. NVT USER TERMINATED

称	データベース名称	製 作 者	国	分野	年	更新
AHCI	ARTS AND HUMANITIES CITATION INDEX	INSTITUTE FOR SCIENTIFIC INFORMATION	米	人文科学	1977	毎月*
BA	BIOLOGICAL ABSTRACTS	BIOSCIENCE INFORMATION SERVICE	米	生物科学	1965	月2*
BI	BIOSIS PREVIEWS	同 上	米	生物科学	1969	月2
CAB	COMMONWELTH AGRICULTURAL BUREAUX ABSTRACTS	COMMONWEALTH AGRICULTURAL BUREAUX	英	農学	1979	毎月
CANCER	CANCERNET	INSTITUT GUSTAVE-ROUSSY	仏	癌	1968	毎月
CANCERLT	CANSER LITERATURE INFORMATION ON-LINE	NATIONAL CANCER INSTITUTE	米	癌	1963	毎月
CANCRPRJ	CANCER RESEARCH PROJECTS	同 上	米	癌	-	-
CDI	COMPREHENSIVE DISSERTATION INDEX	UNIVERSITY MICROFILM	米	学位論文 (全分野)	1961	毎年
CIJE	CURRENT INDEX TO JOURNALS IN BOUCATION	NATIONAL INSTITUTE OF EDUCATION	米	教育	1969	毎月
CLINPROT	CLINICAL PROTOCOLS	NATIONAL CANCER INSTITUTE	米	癌	-	-
COMPENDX	COMPUTERIZE ENGINEERING INDEX	ENGINEERING INDEX	米	工学	1969	毎月*
DBDB	DATABASE OF DADABASES	筑波大学 学術情報処理センター	日	データベース	1980	隔年
ENV	ENVIROTAPES	ENVIRONMENTAL INFORMATION CENTER	米	環境科学	1970	毎月*
ENERGY	ENERGYTAPES	同 上	米	エネルギー	1971	-
EM	EXCERPTA MEDICA	EXCERPTA MEDICA FOUNDATION	蘭	医学	1968	月2*
INSPEC	INFO. SERV. FOR PHYSICS & ENGINEERING COMMUNITIES	I INSTITUTE OF ELECTRICAL ENGINEERS	英	工学	1969	月2*
IPA	INTERNATIONAL PHARMACEUTICAL ABSTRACTS	AMERICAL SOCIETY OF HOSPITAL PHARMACISTS	米	薬学	1970	毎年
JMARC	JAPAN MARC	国立国会図書館	日	図書目録	1979	毎週
LCMARC	LIBRARY OF CONGRESS MARC	U. S. LIBRARY OF CONGRESS	米	図書目録	1973	毎週*
LISA	LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE ABSTRACTS	LEARNED INFORMATION		図書館 情報学	1969	毎月
PA	PSYCHOLOGICAL ABSTRACTS	AMERICAN PSYCHOLOGICAL ASSOCIATION	米	心理学	1967	毎月*
POLL	POLLUTION ABSTRACTS	DATA COURIER	米	環境科学	1970	毎月*
RIE	REOURCES IN EDUCATION	NATIONAL INSTITUTE OF EDUCATION	米	教育	1967	毎月*
SCI	SCIENCE CITATION INDEX	INSTITUTE FOR SCIENTIFIC INFORMATION	米	自然科学	1961	毎月*
SSCI	SOCIAL SCIENCES CITATION INDEX	同 上	米	社会科学	1969	毎月*
UKMARC	UK MARC	BRITISH LIBRARY	英	図書目録	1971	毎週*

(注) 表中の「年」は、その年以降の当該データベースがUTOPIAに収録されていることを示す。「更新」は、そのデータベースの更新周期を、「月2」は月2回更新されることを示す。

*印は一部分が大容量記憶装置(MSS)に収録されていることを示す。